

柘植地域

まちづくりだより 第163号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
(柘植地区市民センター内)
 伊賀市柘植町一〇六四七番地
 〒五一九-一四〇二
 電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三

発行日 二〇一六(平成二十八年)四月一日(金)

本当にありがとう!!!

柘植保育園

3月26日(土)午前、閉園式が現・柘植保育園で行なわれ約90名の方が参加。62年間、保育活動の拠点であった柘植保育園の閉園を惜しまました。

閉園式は午前9時30分から始まりました。実行委員長の阪井則行まちづくり協議会代表のあいさつ、来賓の岡本栄伊賀市長のあいさつの後に、むかしの写真を使ったスライドショーを実施。柘植保育園にゆかりのあった真島弘子元園長先生ほか3名の方に、当時の様子を「語り」を入れて振り返っていただきました。また、以前に園児が日々歌っていた『ほいくえんのうた』を阪井香元園長先生の伴奏で歌いました。

休憩後は、現・柘植保育園の最後となった園児たちがアトラクションで『ともだちほしいな おおかみくん』を上演。そして、7年程前に作られた『ともだちいっぱい(柘植保育園の歌)』を元気に歌ってくれました。

アトラクションの最後には、名曲『おもいでのアльバム』を参加者みんなで大合唱。「〇〇のことです。おもいでしてごらん…」と繰り返し口ずさみながら、名残りを惜しまました。

♪ あんなこと こんなこと あったでしょう
 うれしかったこと おもしろかったこと
 いつになっても わすれない



閉園記念植樹 (コブシ)
 3月23日実施
 閉園式実行委員会

式の後には、現職員の皆さんへ保護者会から花束が贈呈され、中森知里園長先生のあいさつで閉園式は開きとなりました。

地域を挙げて取り組んだ閉園式。先生方、地域の皆さん、関係者すべての皆さんのおかげで柘植保育園の有終の美を飾ることができました。ありがとうございます。



卒業おめでとう



柘植小学校を16名が卒業しました。3月19日

**造園業組合青年部
地域貢献活動**

3月15日(火)午後、いがまち造園業組合青年部のみなさんによる地域貢献活動として、恒例の「サクラランポ植樹会」が、柘植保育園・柘植第二保育園それぞれの園庭で実施されました。

園児たちは、一人ひとりが小さなスコップや移植ごてを使って、青年部のみなさん

柘植保育園卒園児8名



柘植第二保育園卒園児6名



の説明を聞いて、掛け声をかけながら、土を回りに盛っていきました。数日後には、チラホラとサクラの花が咲きはじめ、卒園児の門出を祝っているようでした。なお、卒園式は24日に開催されました。

卒園おめでとう!

地域で見守り おやこ防災事業研修会

自主防災実行委員会

3月13日(日)午前、ゆめぼりすセンターで、伊賀市健康推進課が平成27年度から5カ年計画で取り組んでいる「地域で見守りおやこ防災事業」の一環として研修会が行われ、柘植地域まちづくり協議会からも女性部会・自主防災実行委員会7名が参加しました。また地域の女性消防団員の方も参加しました。



当日は、神奈川県で地域防災事業に取り組んでおられる、NPO法人ママプロ

ラグ・ファシリテーターの宮丸みゆきさんを講師に迎え、「子どもを守るために必要な心構え」について、東日本大震災で隣の部屋に昼寝している子どもの許へ、とっさの時には行けなかったご自分の体験談や、ご主人が震災で勤務先から帰宅できずようやく三日後に帰ったら、暗がりの中にいた子どもを抱えた奥さんの不安と不満が一拳に爆発し、離婚に至ってしまった事例などを通して、

- ① 普段から避難場所や避難要領を家族で話し合っておくこと。
- ② 家族内の安否確認要領を具体的に相談しておくこと

の大切さを改めて教えられました。

お昼も近くなってきた頃には、少量の水を加えるだけで食べられるオモチや熱源付きの牛丼等の試食をしました。また、「宮丸さん自身が、用意している避難袋」の中身の展示などを見るなどして楽しく役立つ研修を終えました。



「防災は、決して難しいことでも面倒なことでもなく、普段の日常生活と結び付けながら、知恵を働かせることが自分を助け家族を助けることである」と言うことを考えさせられた研修でした。

7月3日(日)には、伊賀市行政・社会福祉協議会、民生委員と協力して、柘植地域で「地域で見守りおやこ防災事業」が行われる予定です。主な参加対象は3歳児以下の子どもをもつ保護者です。詳細を6月頃お知らせします。

防災・減災は、まず家庭から！

自主防災実行委員会

「通電火災」ってご存知ですか？

震災による停電復旧後に、倒れたストーブや鑑賞魚用ヒーター、押しつぶされた配線コード等に電気が通って火災が発生するというものです。

避難する際、ブレーカーを切れば済みますが、なかなかそこまで気が回りません。「通電火災」を防ぐために「感震ブレーカー」(写真は一例)を取り付けることによって、機械的にブレーカーを切断する方法があります。

地域の全家庭が設置することができれば、自分の家から火災を発生させないことはもちろんのこと、地域減災力が大幅に向上します。価格は簡易タイプのものだと、3,000~4,000円位です。

ただ、大きな揺れの直後に電気が切れるので、夜間に避難する際には、手元に懐中電灯を用意しておく必要があります。



〈野村区 服部文昭〉

中田慶巡查が着任されました。

2月の人事異動で、前任の竹田さんに替わって、上野丸の内交番から柘植駐在所へ転任されました。このたびインタビューに答えていただきました。



Q「自宅は？」

実家は松阪市(旧三雲町)で伊賀警察署管内は2年目です。

Q「これまでの経歴や特技、仕事のモットーは？」

これまででは四日市の方で刑事職を中心に仕事していました。特技は剣道で5段です。

困っている人を助けることをモットーに日々頑張っています。

Q 柘植地域の印象は？

私自身の育った環境とよく似た田舎な感じがとってても気に入っています。住民のみなさんが気楽に声をかけてくれる温かい雰囲気を感じます。

Q 住民のみなさんへメッセージを！

柘植地域で空き巣が最近ありました。近所同士、複数の目で見慣れない人には注意してください。全国的には携帯電話などへの不審なメールも事件に巻き込まれやすいようです。そうしたメールは相手にしないことです。とにかく困ったら連絡ください。駐在所が不在でも、伊賀警察へ連絡いただければ連絡が付きまします。気軽に相談してください。みなさん、よろしくお願ひします。

◎事務局だより◎

▼柘植保育園の閉園式に際して募集したメッセージには、130を超える方から応募いただき、当日は会場に貼り出しました。現在市民センターに掲示してありますのでご覧ください。(下写真)



事故多発の交差点に「啓発のぼり旗」設置

区長部会では交通安全協会や柘植駐在所と連携して、3月26日午後国道25号と県道4号の交わる「上柘植交差点」に啓発のぼり旗を設置しました。



▼生活環境部会を通じて、昨年11月に植えたスイセンの球根が柘植地域の各地で芽を出し、可憐な黄色い花を咲かせています。▼柘植青葉台区では、小崎幸子さんと松村典子さんが中心となり植付していただきました。左写真は柘植青葉台区中央公園南側のもので、春はすくすくですね。



▼少し先ですが、5月8日は第29回余野公園つつじ祭です。▼先日の「住民アンケート」にも、中止論から拡大論まで多様な意見をいただいています。ツツジ祭運営委員会での話題にも上げさせていただいており、今後、より踏み込んだ祭りの運営についての議論を進めていけるものと考えています。(西田方計)